

付録 13

イスラム（帰依）の第一の柱：

「ラー・イラーハ・イッラッラー（神の他に神はいない）」

第3章18節は、イスラム（帰依）の第一の柱をこう記している。「神は、自らの他に神がいないことを証言される。天使たちや知識ある者たちも同様である。」

この最も重要な柱は、歪められた。何百万人ものムスリムがサタンの多神教的バージョンを採用し、神の名と共にムハンマドの名を口にすることに固執している。しかし、第39章45節にあるコーランの偉大な基準は、そのようなムスリムを不信仰者として刻印している。

「神のみが語られるとき、来世を信じない者たちの心は嫌悪感で縮こまる。しかし、神以外の者が共に語られると、彼らは満足するのだ。」

私はこの基準について広範な調査を行い、驚くべき結論に達した。3章18節に定められたイスラムの第一の柱を守らない偶像崇拝者たちは、神によって正しいシャハーダ（信仰告白）を述べることを禁じられている。彼らは単に「アシュハド・アッラー・イラーハ・イッラッラー（私は神の他に神がないことを証言します）」とだけ、ムハンマドの名を出すことなしに言うことができない。ムスリムを自称する偶像崇拝者で試してみてください。「アシュハド・アッラー・イラーハ・イッラッラー」と言ってみなさいと促しても、彼らは決して言うことができない。これはアブラハムの宗教（2:130, 135; 3:95; 4:125; 6:161; 12:37-38; 16:123; 22:78; 付録9参照）であるため、唯一の信条は「ラー・イラーハ・イッラッラー（唯一の神の他に神なし）」でなければならない。ムハンマドはアブラハム以前に地球上に存在していなかったのだ。

甚大なる冒涇

預言者ムハンマドの本意に反して、彼を偶像化するためにコーランを歪めること以上の冒涇はありません。「ムハンマド」章の19節（47:19）にはこうある。「汝は、唯一の神の他に神がないことを知らねばならない。」

以下に示すのは、ムスリムの出版物『THE REVIEW OF RELIGIONS』（ロンドン・モスク発行）の定期的なロゴのコピーです。この出版者は、コーランの書体（カリグラフィー）を用い、47章19節があたかもそう記されているかのような誤った印象を与える形で、「ムハンマド・ラスールッラー（ムハンマドは神の使徒である）」というフレーズを付け加えた。何という冒涇であろうか！



「汝は、唯一の神アッラーの他に神がない
ことを知らねばならない。ムハンマドは神
の使徒である。」

[この冒読]

歪められたイスラムの典型的な例